

## ●J-OBD と汎用スキャンツールに関する国交省通達

ちょっと前の話になりますが、国交省から3月2日に「J-OBD II を活用した点検整備に係る情報の取扱指針」という通達が出ています。

[http://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha09\\_hh\\_000041.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha09_hh_000041.html)

### 報道発表資料

J-OBD2(自動車の排ガスの故障診断装置)を活用した点検整備情報の取扱指針を策定し、排ガス機能の故障に対処する点検整備情報等の提供が始まります。

平成23年3月2日



近年、自動車の安全・環境性能向上に伴い、電子制御による新技術の利用が広がっています。このため、今般、自動車に備え付けられている排ガス装置について、ユーザーが円滑に点検整備を行い、自動車の性能を適切に維持することにより、自動車の環境の保全等を図ることを目的に、J-OBD2(排気に係る装置の車載式故障診断装置:OBDとはOn Board Diagnosisのこと。)の装備が義務付けられた自動車(ガソリン又はLPGを燃料とする乗車定員10人以下又は車両総重量3.5t以下の自動車等)を対象として、自動車製作者等が提供する情報の内容や方法を指針に決めました。

この指針では、点検整備を行う際に必要となる情報の提供のほか、自動車と接続して故障を診断する外部故障診断装置の開発や改良に必要な情報の提供、自動車製作者等が自ら開発する専用外部故障診断装置の提供等について定めています。

指針の適用時期は、それぞれ、点検整備情報の提供が平成23年4月1日から、外部故障診断装置開発情報の提供が平成24年4月1日から、専用外部故障診断装置の提供が平成25年4月1日からとしています。(概要は別紙)

また、本指針の策定に先立って行いましたパブリックコメント(募集期間:平成22年9月24日~10月25日)では、35の個人・団体の方からご意見をいただきました。いただいたご意見の概要やこれらの回答につきましては、電子政府の総合窓口(e-Gov)に公表します。

#### 添付資料

- ▶ J-OBD2を活用した点検整備に係る情報の取扱指針の概要(PDF ファイル183KB) 
- ▶ J-OBD2を活用した点検整備に係る情報の取扱指針(PDF ファイル116KB) 

#### お問い合わせ先

国土交通省自動車交通局技術安全部整備課 平澤・寺坂

TEL:03-5253-8111(内線42424) 直通 03-5253-8600

詳しい内容は上記にアクセスしてご覧頂きたいのですが、おもなポイントをまとめると下記の3点です。

#### ■点検整備情報等の提供 2011年4月1日~

- ・整備要領書等の提供
- ・リプログラミングの実施に関する情報
- ・すべての故障コードに関する情報

#### ■外部故障診断装置開発情報の提供 2012年4月1日~

- ・故障コード、エンジン関連現在情報出力機能等を表示させる為の情報
- ・リプログラミングの実施に関する情報

## ■専用外部故障診断装置の提供 2013年4月1日～

- ・リプログラミング機能を有する専用故障診断装置を提供できる
- ・専用故障診断装置の提供に際しては技術的能力等を要件と出来る

注目すべき点は、故障コードに関する情報提供を自動車メーカーに促している点です。現在はブラックボックス化している OBD 情報を開示せよという事です。これが実現すると苦労しているメーカー独自コードの解析が一気に進む可能性が出てきます。

しかも情報提供の際に「特定の者に対して不当な差別的扱いをしてはならない」とも明記されていますので、日本自動車機械工具協会や日本自動車機械器具工業会などに所属していない汎用スキャンツールメーカーも平等に情報を受取る機会が与えられる事になります。

残念ながら罰則規定の無い通達ではありますが、国土交通大臣が指針に適合するように指導・助言を行う事が出来るとも書かれていますので、各自動車メーカーにしっかりと守ってほしいものです。

4月に発表された汎用スキャンツール普及検討会の報告書には、整備主任者研修時のスキャンツールに関する技術教育や整備事業場の認定制度の創設も盛り込まれています。

今回の国交省通達と検討会の内容がどんどん推し進められ、全国の整備工場でスキャンツール導入が当たり前になるのもそう遠くないものと考えられます。近隣工場に一步抜きんでる為にもスキャンツールの活用を進めて下さい。

## ●LOSSO-9の管理画面には情報いっぱい！

過去の診断データ、診断結果帳票、最新のメーカー別車種対応表、収益アップツール、アップデート履歴などの情報をユーザーだけに公開しています。ぜひアクセスしてみてください。

下記の様な整備情報もご覧いただけます。

### ◆サポートセンターからのお知らせ

日付	お知らせ内容
2011-05-27	<b>【整備作業報告】</b> NISSAN: キューブ 年式: H23.5 型式: UA-BZ11 エンジン型式: CR14DE 走行距離: 記載なし 検出コード< P0605 > エラー内容: ECCS CPU系統 点検箇所: バッテリー 点検内容: バッテリー交換 作業内容: 電力不足によりフェイルセーフとなり検出。バッテリー交換をする事で改善されました。

管理画面は携帯電話や PC に送られてくる診断結果メールからアクセスできます。ログインに必要な ID・パスがご不明な方はロータス九州支店へお問合せ下さい。

LOSSO-9 に関するお問合せは、製造元・株式会社エムログ 03-5419-7361 へ。